

～ 誰もが 生きていてよかった といえる街をつくりたい ～



2022 年 冬号
No. 226



2022 年!! 未来への挑戦!!

理事長 若林重一

新年を迎え、今年の皆様の抱負はいかがでしょうか。私の抱負は「言行一致」(げんこういち)です。さて、昨年4月に組織改革を行い、「経営基盤強化5ヵ年計画」の初年度でもあり、これまでに経験がない事に職員も戸惑いがあったことと思います。

瀬戸内寂聴さんは、「新しい事に挑戦する時は、人は必ず壁にぶつかる。壁にぶつかるという事は、成長している最中である。頑張っているからこそ壁にぶつかる。」と講和しています。

これまで幾度となく壁にぶつかりながらも成長を続けてきた NPO ぽぽハウス。これからの未来に向けて、今年、どのような事に挑戦していきたいか私なりに語りたいと思います。

先ず、今、法人の大きな「変革期」に差し掛かっているのではと感じます。福祉制度の変遷の中、彦根市内にも「高齢者デイサービス」や「放課後等デイサービス」の事業所が数年間で急激に増えています。そのような中、利用者さん、ご家族のニーズにこれまで以上に「寄り添い・気づき」を大切にしながら、他の事業所と一味違うサービスが提供できるよう、職員自身が切磋琢磨し、エンパワメントが湧き出す持続可能な運営を目指していく事です。

2つ目は、「地域共生社会の構築」に向けた活動を色んな視点から展開していく事です。これは、子ども、障害、高齢等の分野を問わずに「誰もが認め合える、尊重し合える街づくり」という NPO ぽぽハウスのミッションそのものです。そこから生まれる「つながり」は、これからの地域を支える財産となってくるでしょう。



はばたき「耕作体験」



おもいの活動「花の苗植え」

3つ目は、経営基盤強化計画に基づき、「我が事」意識を高めていく事です。この取り組みが法人職員の組織運営力を向上させ、経営の安定的な成長につながっていくと信じています。

「言行一致」この言葉を私も大切にしながら、法人運営に励んでいきたいと思います。皆様にとりましても素晴らしい年になりますよう、心から願っております。



子育て・子育て講座「親子でリフレッシュ」



あったかルーム「お出かけサプライズ」



プペルバス「光る絵本展」

※昨年のぽぽだより春号～秋号から抜粋の写真です。

掲 載 内 容

- ・2面: 「ペットボトルキャップ」を引き渡しました / おはなししませんかい(会)!!
ぽぽハウスの「ホームページ」がリニューアルしました!
- ・3面: 「街かどアート展」への想い / ノートパソコンを寄贈いただきました
- ・4面: 街かど掲示板 / 特別企画展(写真展)のお知らせ / 求人案内 / 寄付のお願い

街かど掲示板



特定非営利活動法人 道
理事長 柴田 恵子さん

「森のお家 ふぁみりい」のご家族の思いから…教えていただいたこと!!

彦根市で「地域包括ケアステーション森のお家」が生まれて、4歳を迎えました。森のお家は、①多機能型重障児等デイサービス:ふぁみりい ②訪問看護ステーション:ふれんず ③相談支援事業所:ちゃれんじの3事業所からなっています。森のお家が3歳になった記念に、子どもたちのそのままの姿を、写真家でジャーナリストの「國森康弘さん」に、撮って頂こうと考えました。その写真の中には、子ども達や両親・きょうだい・スタッフの笑顔がいっぱいでした。子ども達の笑顔は一人ひとり違うけど、みんな神々しい。

森のお家の子ども達は、私など経験してこなかった多くのことを、体験している子ども達です。そのご家族の思いを聴き、かかえきれないほど大きな辛かった現実を、ご家族の皆さんが受け止め、「今、幸せ!ありがとう!」と言われる。私達は、幸せのおすそ分けを沢山いただいています。みんなの今の幸せを、できるだけ長く…続くことができるよう、精一杯歩み続けていきます。皆様のご協力に感謝しながら…。

「街かどアート展」< 特別企画展 >

「笑顔をありがとう～森のお家と仲間たちの成長～ 写真展」を開催します

◆期 間: 令和4年2月5日(土)～2月19日(土)
◆開催場所: 彦根市南地区公民館
◆観 覧 料: 無 料
主 催: 特定非営利活動法人 道
共 催: 街かどアート展実行委員会
後 援: 彦根市・彦根市教育委員会

◆期 間: 令和4年3月23日(水)～4月10日(日)
◆開催場所: 愛荘町立愛知川図書館
◆観 覧 料: 無 料
主 催: 特定非営利活動法人 道
共 催: 愛荘町・街かどアート展実行委員会
後 援: 愛荘町社会福祉協議会

求 人 案 内

※ 詳しくは
ハローワークの
求人票をご覧ください。

【正職員】

- ◎主任ケアマネジャー
- ◎ケアマネジャー
- 勤務地: 平田町

【パート】シフト制

- ◎介護職員 勤務地: 平田
- ◎ドライバー (利用者の送迎)
- ◎児童指導員 ※64歳以下
- 勤務地: 平田・大藪・芹川

寄付の お願い

“ぽぽハウス”は、認定 NPO 法人のため
寄付金に対する税制上の優遇措置が受け
られる団体となっております。
ぜひ、私たちの活動にご協力ください。

- ◎ 振 込 先 ゆうちょう銀行
- ◎ 口座名義 特定非営利活動法人 NPO ぽぽハウス
- ◎ 口座記号 00980-4
- ◎ 口座番号 130131

< 本誌内容に関するお問い合わせ >

認定特定非営利活動法人 NPO ぽぽハウス

発行責任者: 若林 重一

住所: 〒522-0041 彦根市平田町107-11 (法人事務局)
TEL: (0749)27-9777 mail: popohouse@nifty.com
FAX: (0749)27-9888 HP: http://www.popo-house.jp

芹川町	ぽぽ相談室	(要医療児者支援体制配置)
	・特定相談支援・委託相談	(行動障害支援体制配置)
	・障害児相談支援	(精神障害者支援体制配置)
大藪町	きらめき(障害児通所施設)	
	・児童発達支援・放課後等デイサービス・日中一時支援	
大藪町	ぽぽハウス(障害児通所施設)	
	・児童発達支援・放課後等デイサービス・日中一時支援	
大藪町	個別支援室	
	・同行援護・行動援護・移動支援	

居宅介護支援室

- ・ケアマネジメント

ぽぽハウス(高齢者通所施設)

- ・地域密着型通所介護(介護予防通所介護)
- ・ほのぼの(通所型サービスA)

はばたき(障害児通所施設)

- ・児童発達支援・放課後等デイサービス・日中一時支援

子ども子育て支援室

- ・すくすく教室・のびのび教室(彦根市受託事業)

地域協働室

- ・市民共生活動・子育てアドバイス相談
- ・あったかルーム(宅老)

車両室

彦根市地域子育て支援センター「まんまるひろば」
(ビバシティ彦根2階)

※認定特定非営利活動法人 NPO ぽぽハウスは、「認定 NPO 法人 しが NPO センター」・「NPO 法人 街かどケアしがネット」の会員です。

「ペットボトルキャップ」を引き渡しました ～地球にやさしい環境づくり～

NPO ぽぽハウスでは、年間を通して「ペットボトルキャップ」を職員、利用者さんと一緒に集めています。集められたペットボトルキャップは、滋賀県立大学サークルの「廃棄物バスターズ」に引き渡しました。その後、プランター製作等の資源リサイクル活動に有効活用されています。

昨年11月22日（月）、きらめきに通所される子ども達から5人の学生へ「ペットボトルキャップ」をお届けしました。当日は、職員手作りのリサイクルを題材とした紙芝居をみんなで観て、私達の暮らしをあらためて考えるいい機会となりました。これからも「地球にやさしい環境づくり」に向けて地域の皆さんと共に歩んでいきます。（地域協働室：黒田）



おはなししませんかい（会）!! ～意思決定支援を考える～

最近、「意思決定支援」という言葉がよく聞かれます。「ぽぽ相談室」では、「意思決定支援」とは、「当事者が地域で主体的に生きていく社会づくり」と捉え、当事者の想いに寄り添える居場所づくりとして「おはなししませんかい（会）」を開催しています。

昨年11月5日（金）は、「若年青年期の方の夕方の過ごし方」をテーマに彦根市障害者福祉センターで障害者スポーツの「ボッチャ」を皆で楽しみました。

その活動の中から聞こえてくる「声」そのものが「意思決定支援」の入口支援（環境づくり）と言えるのではないのでしょうか。

地域に同年代の当事者たちが「集える機会」が少ないのが現状ですが、いろんな活動ができる機会を地域に創造していく事が「主体的に生きる」ことにつながるのではとも感じました。

そのような「居場所づくり」から聞こえる「声」を私たちは大切にし、当事者に寄り添いながら共に創っていきます。（ぽぽ相談室：福井）



ぽぽハウスの「ホームページ」がリニューアルしました！

NPO ぽぽハウスのホームページをいつもご覧いただきありがとうございます。この度、これまでのホームページのデザインや構成等を大幅にリニューアルしました。これからも皆様に様々な情報を提供できるよう努めてまいります。ご要望等お寄せ下さい。

NPO ぽぽハウス

検索



「街かどアート展」への想い

今回『街かどアート展』の実行委員長を任された山中裕介です。普段は社会福祉法人かすみ会かいぜ寮で生活支援員をしています。

さて、「芸術活動×共生社会」というコンセプトで始まった『アート展』。昨年10月、彦根市役所での展示からスタートし、湖東地域の障がいのある方々が制作された陶芸、絵画、さをり織や笑顔から圧倒的な生命力を感じる写真の数々を展示し、多くの地域の方々とのつながりを持つ事ができました。又、11月、滋賀銀行愛知川支店、彦根市南地区公民館でも開催し、温かいメッセージをいただきました。ありがとうございます。

私も自由な力強い表現の作品から作家の方々に無限なる可能性を感じます。「どのような立場の人でもお互いが認め合える地域創り」をビジョンにこれからも、皆さんの身近な場所で開催していく予定です。魅力ある作品たちが皆さんとの出会いをお待ちしております。



＜月光に虹が出た＞



＜月夜にダンス＞



＜夕やけトンボ＞



＜三日月くん＞



＜藤の花に青い蝶＞



＜僕とシャチ＞

～ 来場された方々からのメッセージ ～



障がいのあるなし関係なく共に生きる共生社会になれば、素晴らしいと思いました。このような機会をまた増やして頂きたいと思います。

どの作品も自由でのびのびと豊かに表現されていて、見ていると心が穏やかに明るくなってきます。日々、楽しいことばかりでないかもしれませんが、みなさんの作品を見て勇気づけられたり、元気になったりする人もたくさんいるということを知っててください。

どの作品からも作家さんのパワーとエネルギーが感じられます。個性的かつ作品への想いが伝わってきます。私も社会人になってから、絵を描いたりした事はないですが何か始めてみたくなりました。

これからの未来ある子ども達が秘めている感性が頼もしく感じる作品ばかりで感動のひと時でした。沢山楽しませていただきありがとうございます。

森のお家の写真を拝見して、スタッフの皆さんの笑顔と保育を見て、心身共に支え合い頑張っておられる姿と子供達の明るい笑顔でお互いに刺激をもらって支え合いながらの運営に頭が下がります。ありがとうございました。

写真展示にも心が動きました。私も福祉の末端でお世話になる一人として、笑顔の持つ力を再確認できました。今日の展示会までに各処で御尽力下さった皆様に心より御礼申し上げます。

💡🌟💡 ノートパソコンを寄贈いただきました

大阪ガスグループ協賛「はじまるくんパソコン寄贈プログラム」の贈呈式が昨年12月17日（金）彦根市障害者福祉センターで行われ、当法人にノートパソコン1台が贈呈されました。「共生社会の実現」に向けた様々な活動に活用させていただきます。心より感謝申し上げます。



＜写真一番右・若林理事長＞